

令和5年度「教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修」の開催について ～SDGs 達成に向けた環境教育・ESD 実践講座～

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築を目指して、学校や地域で環境教育・ESD を実践・推進するリーダーたる人材を育成することを目的に、本研修を開催します。

1 研修の趣旨

環境教育は、「持続可能な社会の構築」を目指して、学校、地域、家庭等のあらゆる場において行われるものです。

私たちは、環境・経済・社会に関わる複合的な危機や様々な課題に直面しており、環境教育において、持続可能な社会の構築に向けた多様な視点からの取組が求められています。国内外での潮流や、複雑化する環境・経済・社会の課題の統合的な解決に向けて、環境教育の取組においても、これまで以上にESD（持続可能な開発のための教育）の実践を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向かう意欲と実践力・行動力を育成していく必要があります。

学校においては、学習指導要領に基づき、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童生徒に、「生きる力」を育むに当たって、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた授業改善を図り、自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる等の資質・能力を教科等横断的な視点で育成するとともに、それらを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図ること（カリキュラム・マネジメント）が求められています。

地域においては、環境教育等促進法の基本方針で、持続可能な社会づくりに主体的に参加する意欲を育むための「体験活動」を取り入れた環境教育プログラムが重要視されています。こうした「体験活動」の意義を踏まえて、地域や民間企業の「体験の機会のある場」を「地域や国を越えた交流の拠点」と位置付け、「地域循環共生圏」の創造に寄与していきます。体験活動は、学校教育だけでなく、企業等の社員教育や、地域住民への普及啓発等にも有効です。

本研修は、これらを踏まえ、持続可能な社会の構築を目指し、さらにSDGsという世界共有の未来の価値を相互に磨き合う協働・共創を通して、学校や地域における質の高い環境教育・ESD を実践・推進するリーダーとなる人材を育成していくことを目的に開催します。

2 研修の内容

本研修には、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育における体験活動の実践力向上を目指す「プログラム・デザイン・コース」を設けています。

■カリキュラム・デザイン・コース

環境教育・ESD のカリキュラムをデザインする力を養うことにより、学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESD を実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とします。

今年度は、集合型研修（オンライン形式、対面式）と講師派遣型研修の2形態で実施します。

(1) 集合型研修①（オンライン形式）

校種別（小中学校チーム、高校チーム）によるグループワーク（優良事例の紹介、意見交

換等)を実施します。なお、事前学習として、講師による講義を YouTube 動画にて事前視聴いただくこととします。研修はオンライン会議システム『Zoom』を使用して実施します。

※ 講義のみの参加も可能です。

※ グループワークでは、Zoom ホワイトボードまたは Google Jamboard 等を使用することがあります。

※ オンライン会議システム受講用 URL は、お申込み後にお知らせいたします。

●対象：学校関係者（小・中・高校等の教職員）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人

●日程：

<第1回> 令和5年7月2日（日）13:00～16:00

<第2回> 令和5年9月17日（日）9:00～12:00

●定員：グループワークは各回50名程度

（事前視聴いただく講義のみの参加は定員制限なし）

(2) 集合型研修② (対面式)

校種別（小中学校チーム、高校チーム）によるグループワーク（各教科等と関連させた環境教育・ESDの指導計画表〔ESDカレンダー等〕を作成するための演習）を実施します。なお、事前学習として、講師による講義を YouTube 動画にて事前視聴いただくこととします。

●対象：学校関係者（小・中・高校等の教職員）、教育委員会、地方公共団体など環境行政に携わる人

●日程・会場：

<第1回> 令和5年7月31日（月） 10:30～16:00

会場：ビジョンセンター東京駅前

（東京都中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル）

<https://www.visioncenter.jp/tokyo/ekimae/>

<第2回> 令和5年8月5日（土） 10:30～16:00

会場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

（滋賀県大津市におの浜1-1-20）

<https://www.piazza-omi.jp/>

●定員：各回100名程度

(3) 講師派遣型研修

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義・グループワークを行います。内容は、環境教育・ESDのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、派遣先と相談して決定します。ホールスクール・アプローチの向上にお役立てください。また、既にESDカレンダーを取り入れている学校については、その評価手法など学校の進捗状況に沿った研修会を行うこともできます。

●対象：学校、教育委員会、地方公共団体など、全国10か所

●日程・内容：派遣先の希望に応じて柔軟に対応します。

事務局 (esd-kensyu@jeef.or.jp) までメールにて御相談ください。

●講師派遣型研修参加申込みについての注意点：

・研修参加者が原則として20名程度以上確保できること。

- ・研修時間を3～6時間程度確保できること。
 - ・研修会場（教室等）の確保 および 新型コロナウイルス対策を講じられること。
 - ・目的意識をもって御参加いただけるよう全参加者に事前アンケート等への御協力をいただけること。
- ※講師派遣、参加者への資料送付等に係る研修参加側の費用負担はございません。

●本研修の活用例

- ・学校全体での取組を推進するための学校での研修会や勉強会
- ・地域単位で環境教育やESDを推進するための教育委員会等主催の研修会や複数の学校同士による合同研修会
- ・地域が連携した環境教育・ESDを推進するための教職員、行政職員、地域の環境教育関係者等を対象とした地方公共団体や教育委員会主催の研修会

(4) 講 師 (五十音順)

- 石田 好広 氏（目白大学 人間学部児童教育学科 教授）
 岡本 弥彦 氏（岡山理科大学 教育推進機構教職支援センター 教授）
 小澤 紀美子 氏（東京学芸大学 名誉教授）
 關口 寿也 氏（東京都多摩市立連光寺小学校 校長）
 棚橋 乾 氏（全国小中学校環境教育研究会 顧問）
 松井 孝夫 氏（尾瀬高校活性化委員会 専門委員）

■プログラム・デザイン・コース

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「体験の機会の場」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構（<https://esd-place.org/>）と連携して行います。持続可能な社会を構築するための取組と環境教育・ESDとの関係を、五感を使って体験し、多様な主体と共感を分かち合いながら、体験活動を企画・実践するための視点や双方向型のコミュニケーションについて学びます。

また、本年度も「体験の機会の場」に加え、国立公園・国定公園における研修を実施します。

- 対 象：NPO/NGO、民間企業、行政関係者、学校教職員、大学生・大学院生等の環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方
- 日 程：実施内容は以下のとおりです（研修時間6時間程度）。
各研修の正式な日時及び詳細等はWebサイトにて随時更新してまいります。

●定 員：各回25名程度

●各種研修案内

<体験の機会の場>

- (1) 株式会社相愛（高知県高知市）
【日程】9月2日(土)
- (2) 公益財団法人日本生態系協会 森の墓苑（千葉県長生郡長南町）
【日程】10月7日(土)
- (3) OMソーラー株式会社 地球のたまご（静岡県浜松市）
【日程】10月28日(土)
- (4) 公益財団法人キープ協会 清泉寮新館及びキャンプ場を含むその周辺の森林（山

梨県北社市)

【日程】11月25日(土)

(5) 株式会社京都環境保全公社 伏見環境保全センター (京都府京都市)

【日程】1月20日(土)

(6) NPO 法人雨煙別学校 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス (北海道夕張郡栗山町)

【日程】3月17日(日)

<国立公園>

(7) 日光国立公園 NPO 法人那須高原自然学校 那須高原ビジターセンター (栃木県那須郡那須町)

【日程】9月23日(土祝)

(8) 磐梯朝日国立公園 NPO 法人ホールアース研究所 福島事務所 国立磐梯青少年交流の家 (福島県耶麻郡猪苗代町)

【日程】10月1日(日)

※各回、近隣の主要な駅から送迎バスを用意する予定です。

3 申込方法

【オンライン申込み】

運営事務局のWebサイトにある「お申込みフォーム」に必要な事項を御記入の上、送信してください。(※講師派遣型研修のみ、研修運営事務局まで直接メールでご相談ください。)

研修公式Webサイト：https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

【申込期限】

カリキュラム・デザイン・コース及びプログラム・デザイン・コースともに、原則、各研修開催日の1週間前まで

※原則、先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。

【研修受講前の準備について】

カリキュラム・デザイン・コースの研修受講においては、事前に御記入いただく用紙(事前課題シート)がございます。研修の詳細については、各研修開催の1週間前頃に送付する「研修のしおり」をご参照ください。

【アンケート】

本研修の運営向上のため、参加者には研修終了後に「事後アンケート」を、また、研修終了後の数か月後に本研修で得た学びをどのように活用されたか等をお伺いする「フォローアップアンケート」を実施させていただきます。

【その他】

- ・受講料は無料です。ただし、オンライン視聴における通信料金等は自己負担となります。また、研修会場や集合場所までの交通費や食費、宿泊費等も自己負担となります。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策については、内閣官房「感染対策インフォメーション」ウェブサイト等により政府又は自治体から提供される情報を適宜御参照いただくとともに、感染が急拡大している時期などには、これまでの取組を参考に感染対策を強化することがございますので御留意ください。
- ・日程変更やキャンセルをする場合は、必ず御連絡いただきますよう御協力をお願いいたします。
- ・やむを得ない事情により、日程等を変更又は中止する場合があります。その場合は、研修

事務局から御連絡いたしますので、あらかじめ御了承願います。

【研修に関してのお問合せ】

研修運営事務局： 公益社団法人日本環境教育フォーラム内
担当：金久保・中地

URL： https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

MAIL： esd-kensyu@jeef.or.jp

TEL： 03-5834-2897 FAX： 03-5834-2898